

Cisco IOSソフトウェア Session Initiation Protocol (SIP) サービス拒否の脆弱性

| | | |
|------|--|-------------------------------|
| High | アドバイザーID : cisco-sa-20100922-sip | CVE-2009-2051 |
| | 初公開日 : 2010-09-22 16:00 | 2010-2835 |
| | 最終更新日 : 2012-09-21 19:16 | CVE-2010-2835 |
| | バージョン 1.1 : Final | 2010-2834 |
| | CVSSスコア : 7.8 | |
| | 回避策 : Yes | |
| | Cisco バグ ID : CSCtf72678 , CSCsz43987 , CSCta20040 | |
| | | |

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

SIP オペレーションが有効になるとき多重脆弱点により非認証を可能にする可能性がある Cisco IOS[®] ソフトウェアのセッション開始プロトコル (SIP) 実装にリモート攻撃者影響を受けたデバイスのリロードを引き起こすためにあります。

シスコはこれらの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートを提供しています。 SIP を実行する必要があるデバイスのための回避策がありません; ただし、軽減は脆弱性への公開を制限して利用できません。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100922-sip> で掲示されます。

注: 2010 年 9 月 22 日、Cisco IOSソフトウェア Security Advisory によって組み込まれる書は 6 Cisco Security Advisory が含まれています。アドバイザーの 5 つは Cisco IOSソフトウェアの脆弱性に対処し、1 つのアドバイザーは Cisco Unified Communications Manager の脆弱性に対処します。各アドバイザーには、そのアドバイザーで詳述された脆弱性を解決するリリースを記載しています。次の URL リストの表は正しい 2010 年 9 月 22 日送達されたすべての Cisco IOSソフトウェア脆弱性、またはそれ以前ことリリースします:

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100922-bundle>

"Cisco Event Response: 半年ごと Cisco IOSソフトウェア Security Advisory は次のリンクのパブリケーションを」組み込みました:

http://www.cisco.com/web/about/security/intelligence/Cisco_ERP_sep10.html

Cisco Unified Communications Manager (CUCM) はこのアドバイザリに説明がある脆弱性から影響を受けます。 2 別々の Cisco Security Advisory は次の場所で Cisco Unified Communications Manager に影響を与える脆弱性を表わすために公開されました:

[826-cucm](#)

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100922-cucmsip>

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco デバイスは SIP メッセージを処理するために設定される影響を受けた Cisco IOS ソフトウェア バージョンを実行しているとき影響を受けています。

Cisco IOS ソフトウェアの最近のバージョンは SIP メッセージをデフォルトで処理しません。 **dial-peer voice** コマンドの発行によるダイヤル ピアを作成することは SIP メッセージを処理します Cisco IOS デバイスは SIP プロセスにより開始します。 さらに、Cisco Unified Communications Manager Express 内の複数の機能は、ephone のようなまた、自動的に設定される場合 SIP メッセージを処理し始めます デバイスは SIP プロセスにより開始します。 影響を受けた設定の例は続きます:

```
dial-peer voice <Voice dial-peer tag> voip
...
!
```

デバイスが SIP メッセージを処理します **ダイヤルピア** コマンドのために Cisco IOS デバイス 設定を点検することに加えて管理者はまた **show processes** を使用できます | Cisco IOS ソフトウェアが SIP メッセージを処理するプロセスを実行しているかどうか判断するために **SIP** コマンドを **含んで下さい**。 次の例では、Cisco IOS デバイスが SIP メッセージを処理することをプロセス **CCSIP_UDP_SOCKET** の存在か **CCSIP_TCP_SOCKET** は示します:

```
Router# show processes | include SIP
 149 Mwe 40F48254          4          1    400023108/24000  0 CCSIP_UDP_SOCKET
 150 Mwe 40F48034          4          1    400023388/24000  0 CCSIP_TCP_SOCKET
```

注: 複数の方法があるので Cisco IOS ソフトウェアを実行するデバイスはそれ推奨されますこと **show processes** SIP メッセージを処理し始めることができます | **SIP** コマンドをデバイスが特定の設定コマンドことをの存在に頼るかわりに SIP メッセージを処理しているかどうか判断するのに使用されています **含んで下さい**。

Cisco Unified Border Element イメージはまたこれらの脆弱性の 2 から影響を受けます。

注: Cisco Unified Border Element 機能は (以前に Cisco マルチサービス IP-to-IP な ゲートウェイとして知られている) マルチサービスゲートウェイ プラットフォームを on Cisco 実行する

特別な Cisco IOSソフトウェアイメージです。それはインターワーキングに信号を送る請求書を送ること、セキュリティ、コール アドミッション制御、Quality of Service ためにネットワーク間 インターフェイス ポイントを、および提供します。

Cisco 製品で稼働している Cisco IOS ソフトウェア リリースを確認するには、機器にログインし show version コマンドを実行してシステムバナーを表示させます。"Internetwork Operating System Software"、"Cisco IOS Software" あるいはこれらに類似するシステム バナーによってデバイスで Cisco IOS ソフトウェアが稼働していることを確認できます。その後ろにイメージ名が括弧の間に表示され、続いて "Version" と Cisco IOS ソフトウェア リリース名が表示されます。他の Cisco 機器では、show version コマンドがない場合や、表示が異なる場合があります。

以下の例は、Cisco 製品にて、IOSリリース 12.3(26) が稼働し、そのイメージ名が C2500-IS-Lであることを示しています:

```
Router# show version
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) 2500 Software (C2500-IS-L), Version 12.3(26), RELEASE SOFTWARE (fc2)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 17-Mar-08 14:39 by dchih
```

!--- output truncated

次の例は C1841-ADVENTERPRISEK9-M のインストール済みイメージ名前と Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(20)T を実行している Cisco製品を指定したものです:

```
Router# show version
Cisco IOS Software, 1841 Software (C1841-ADVENTERPRISEK9-M), Version 12.4(20)T,
RELEASE SOFTWARE (fc3)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Thu 10-Jul-08 20:25 by prod_rel_team
```

!--- output truncated

Cisco IOS ソフトウェアのリリース命名規則の追加情報は以下のリンクの "White Paper: Cisco IOS Reference Guide" で確認できます: <http://www.cisco.com/warp/public/620/1.html>。

注: CUCM はこのアドバイザリに説明がある脆弱性から影響を受けます。2 別々の Cisco Security Advisory は次の場所で Cisco Unified Communications Manager に影響を与える脆弱性を表わすために公開されました:

[826-cucm](#)

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100922-cucmsip>

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

SIP アプリケーション層ゲートウェイ (ALG) はこれらの脆弱性から、Cisco IOSソフトウェアの Cisco IOS NAT およびファイアウォール特性によって使用される、影響を受けません。

Cisco IOS XR ソフトウェアは、これらの脆弱性の影響を受けません。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

| | | |
|--------------|-------------------|----------|
| リビジョン 1.0 | 2010-September-22 | 初回公開リリース |
|--------------|-------------------|----------|

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。